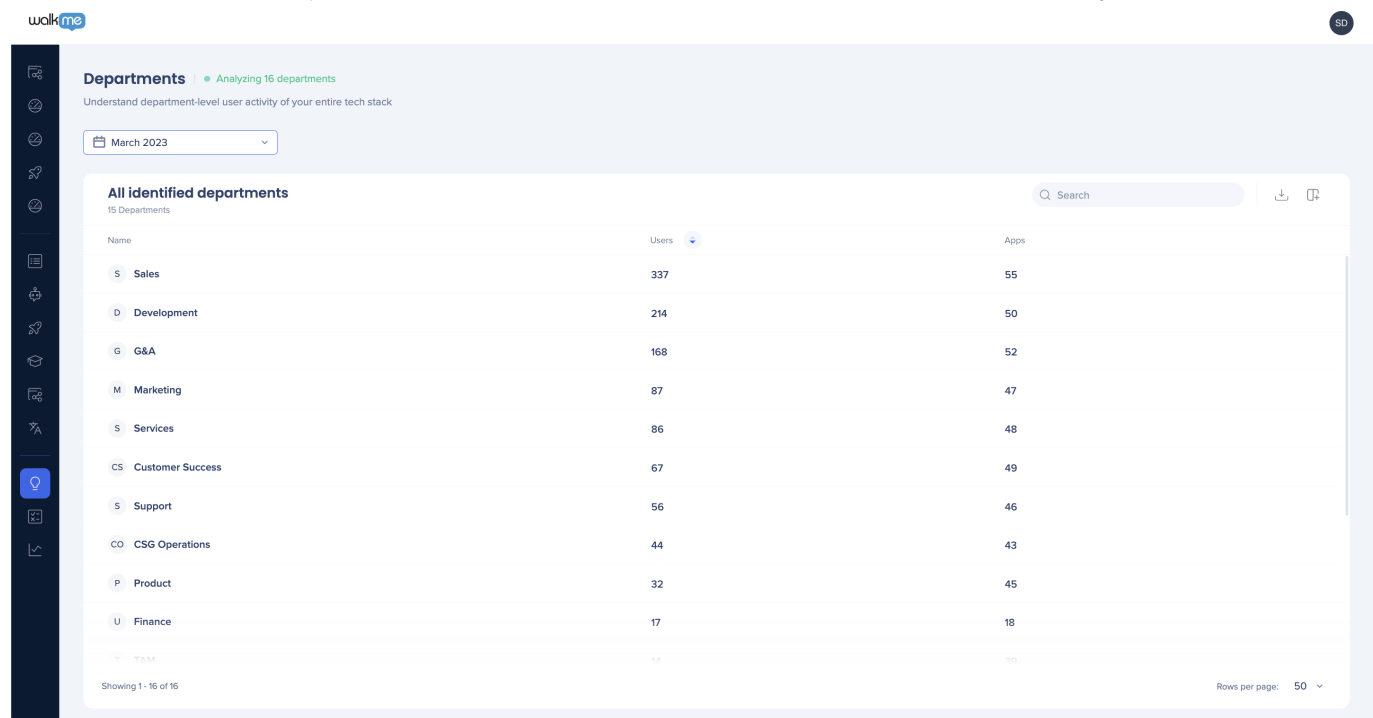


# WalkMe Discovery部門

## 概要

部門ダッシュボードでは、組織の部門を可視化できます。

各部門のユーザー数と、各部門で使用されるアプリケーションの数が表示されます。



Name	Users	Apps
S Sales	337	55
D Development	214	50
G G&A	168	52
M Marketing	87	47
S Services	86	48
CS Customer Success	67	49
S Support	56	46
CO CSG Operations	44	43
P Product	32	45
U Finance	17	18

## 情報の確認

部門ダッシュボードでは、組織の部門を包括的に表示できます。このセクションでは、ダッシュボードのデータと利用可能なアクションについて説明します。

各ウィジェット名をクリックすると、詳細が表示されます。

### タブと列

- 名前 – 提供された情報に基づく部門名
- ユーザー – 提供された情報に基づくこの部門のユーザー数

- **アプリ** – 定義された日付範囲で、部門のユーザーが使用したアプリケーションの数

## アクション

- **日付フィルター** – カレンダー 月でフィルターをかける
- **検索** – 名前で特定の部門を検索
- **アプリデータのエクスポート** – ダッシュボードデータをcsv/xlsxにエクスポートする
- **列の管理** – ダッシュボード から列の追加 / 削除
- **列の並べ替え / フィルタリング** – 値に基づいて列の並べ替え / フィルタリングをする
- **使用されるアプリ** – 部門ごとに使用されるアプリの番号をクリックすると、すべてのアプリのリストが表示されます
- **ユーザー** – **ユーザー** の番号をクリックすると、すべてのユーザーのリストが表示されます

## セットアップ

情報を特定して充実させるために、どのメソッドを使用するか決定します：

**管理センターでIDPが既に設定されている場合、Discoveryはこの情報を自動的に活用します** IDPをDiscoveryに接続するためにアクションは必要ありません。

- IDPは100%の信頼性がないため、ユーザーの詳細に違いが生じる場合があります。
- ユーザーカバレッジを最大化するにはCSVアップロードが必要です

**管理センターでIDPが設定されておらず、**どれを追求するかを知りたい場合は、IDPが期待される結果を提供することが保証されていないためCSVが最大カバレッジを確保するのに最適な選択肢となります。

- IDPを担当するITチームが遅延の可能性を回避します
- IDPが最初に設定された場合にのみ、差異を識別し、CSVアップロードが必要であると判断することで、二重作業を避けます

[IDPの詳細については、こちらをクリックしてください](#)

## 従業員詳細CSVをアップロードする方法

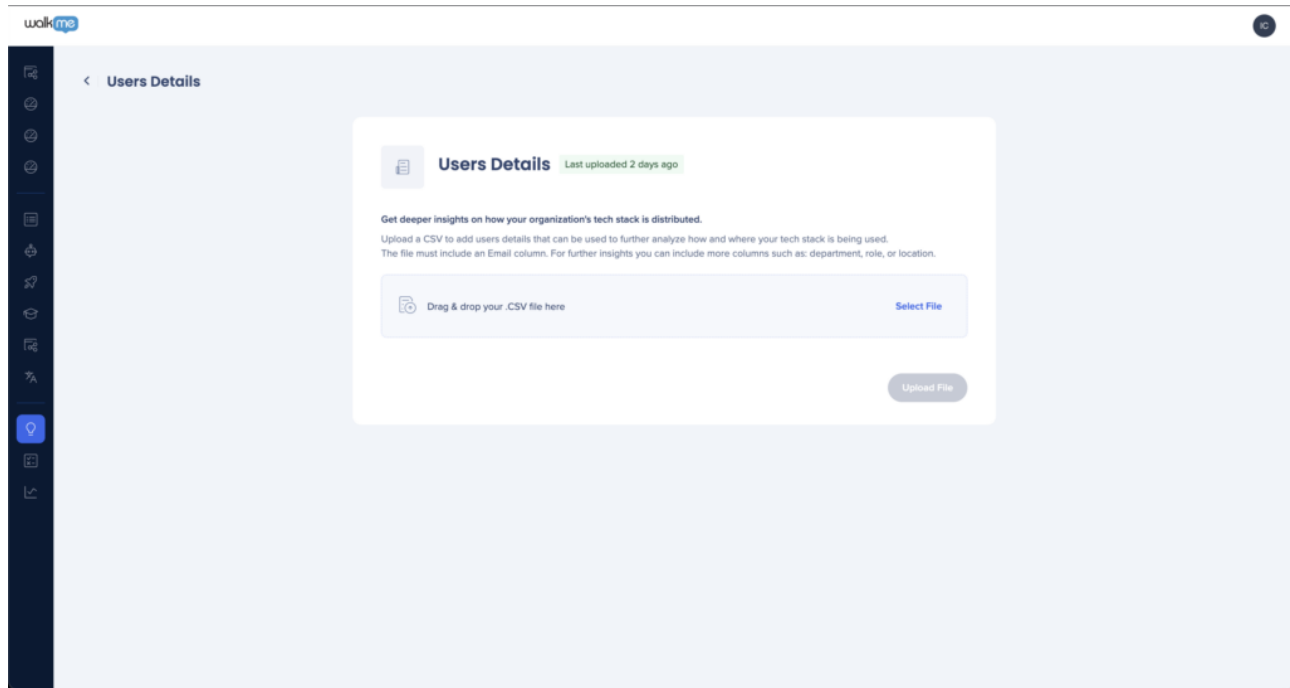
ユーザーと部門ダッシュボードのデータを充実させるために、各ユーザーの追加情報を含むCSVをアップロードすることをお勧めします。

CSVをアップロードするには：

1. **Discoveryの設定>インテグレーションマニュアルインテ>>グレーション ユーザー詳細>へ移動します**
2. **テンプレートCSVにユーザー情報を入力します**
  - 注：メールは唯一の必須フィールドです

### 3. 完了したCSVをアップロードします

- WalkMeコンソールで、Discovery>設定>統合に移動します
- CSV統合セクションまでスクロールし、ユーザー詳細で表示をクリックします



新しいアップロードは古いCSVを上書きします

CSVを更新すると、最新のアップロードは以前のアップロードを上書きします。そのため、追加情報をインポートするには、以前のCSVへ追加し、再アップロードする必要があります。